

平成29年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要

県人口 6,257,886人(平成30年1月1日現在)

人 口 班

電話 043-223-2223

1. 人口総数

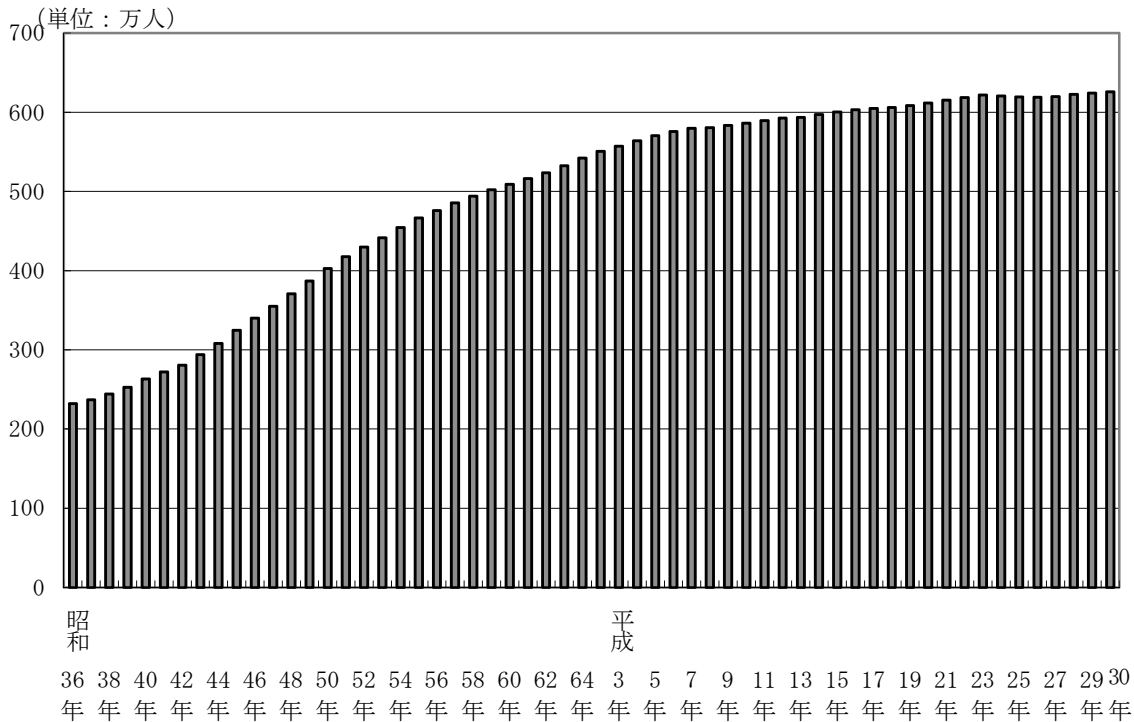
県人口 625 万人

平成30年1月1日現在の本県の人口は6,257,886人で、前年人口の6,242,474人に比べ15,412人、率にして0.25%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在(国勢調査)1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。平成23年に初めて減少に転じ、平成25年まで3年連続で減少したが、平成26年に再び増加に転じ、以降は平成29年まで引き続き増加している。

平成27年国勢調査によると、本県の人口は、6,222,666人で全国第6位となっている。

また、本県の外国人数は平成30年1月1日現在116,836人で、前年の104,187人に比べ12,649人、率にして12.14%増加しており、県人口の1.9%を占めている。

図1 千葉県人口の推移(昭和36年～平成30年、各年1月1日現在)



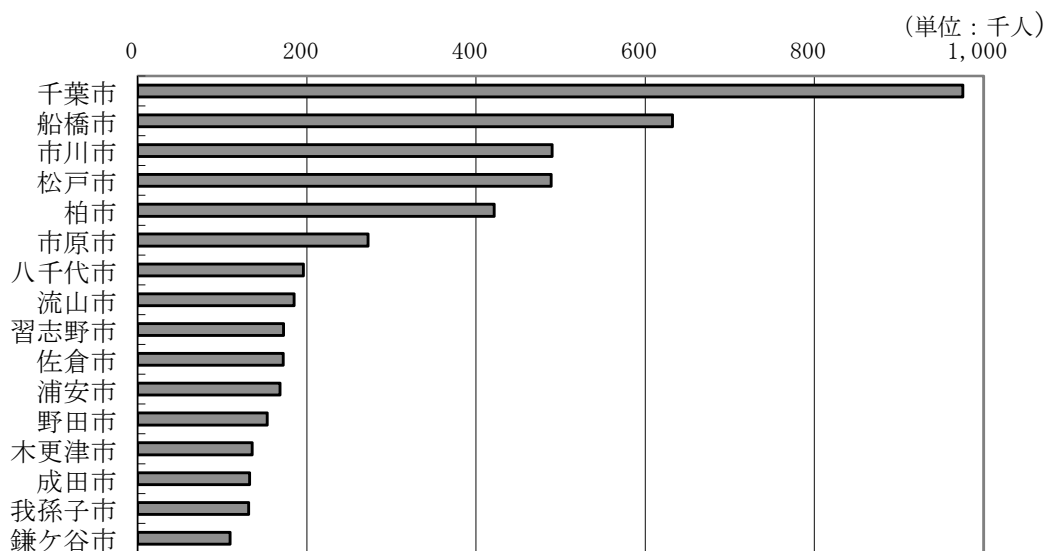
千葉市人口 97 万 5 千人
県人口の 15.6% を占める

平成30年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部(37市)のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が975,535人(県人口に占める割合15.6%)で最も多く、郡部人口204,507人(同3.3%)の約4.8倍となっている。以下、船橋市632,241人(同10.1%)、市川市490,052人(同7.8%)、松戸市488,706人(同7.8%)、柏市421,600人(同6.7%)の順で続き、この5市で県人口の48.1%を占めている。

郡部(16町1村)では、横芝光町が23,161人(同0.4%)で最も多く、以下、栄町20,709人(同0.3%)、酒々井町20,683人(同0.3%)、九十九里町15,688人(同0.3%)、多古町14,379人(同0.2%)の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が19,739人(県外国人人口に占める割合16.9%)で最も多く、以下、船橋市14,568人(同12.5%)、松戸市12,151人(同10.4%)、市川市9,795人(同8.4%)、柏市6,802人(同5.8%)の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増減

人口増減数 1万5千人 増減率 0.25%

平成29年中の本県の人口増減は、増減数15,412人、増減率0.25%で、前年(17,735人、0.28%)より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数12,649人、増減率12.14%で、前年(10,519人、11.23%)より増加した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じて以降、平成25年(-0.02%)までマイナスが続いたが、平成26年は増加に転じた。

自然増減数は減少

平成29年中の自然増減は、増減数-13,969人(出生45,243人、死亡59,212人)で、前年の-10,034人(出生46,656人、死亡56,690人)に比べ出生が1,413人減少し、死亡が2,522人増加して自然増減数は3,935人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数874人(出生1,089人、死亡215人)で、前年の819人(出生1,038人、死亡219人)に比べ出生が51人増加し、死亡が4人減少して自然増減数は55人増加した。

近年の自然増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合)でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが、平成23年に初めてマイナスに転じ、平成29年も-0.22%となった。

社会増減数は増加

平成29年中の社会増減は、増減数29,381人(転入195,000人、転出164,831人、県内の移動-511人、その他-277人)で、前年に比べ1,612人増加した。うち、外国人の社会増減は、増減数11,775人(転入40,137人、転出25,186人、県内の移動-100人、その他-3,076人)で、前年に比べ2,075人増加した。

前年の増減数27,769人(転入188,452人、転出159,488人、県内の移動-405人、その他-790人)と比較すると転入が6,548人増加、転出が5,343人増加、県内の移動が106人減少、その他が513人増加している。また、外国人は前年の増減数9,700人(転入35,396人、転出21,925人、県内の移動-45人、その他-3,726人)と比較すると転入が4,741人増加、転出が3,261人増加、県内の移動が55人減少、その他が650人増加している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)でみると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、平成29年は0.47%となった。

(単位: %)

図3 人口増減率の推移 (昭和36年～平成29年)

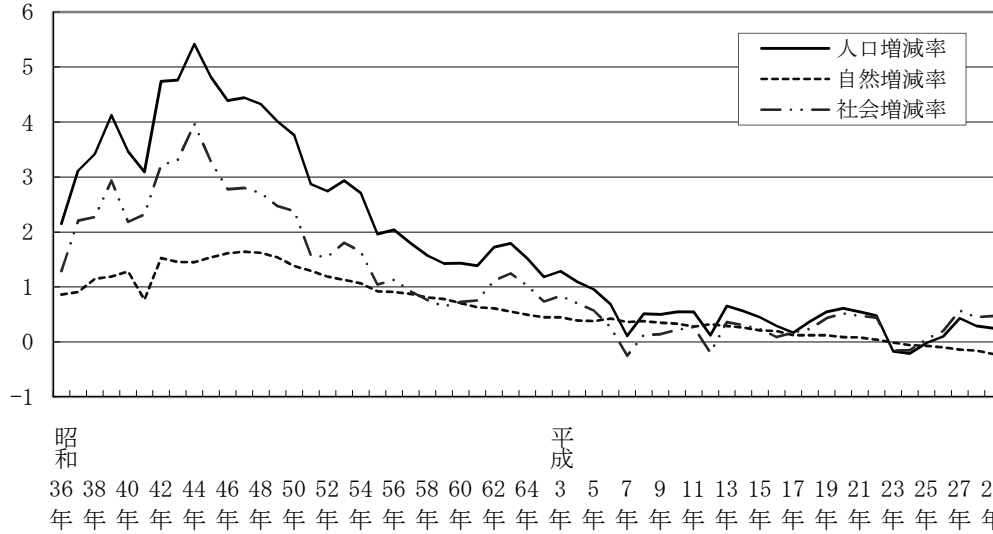


表1 月別動態別人口増減数 (平成29年中)

(単位: 人)

	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-1,715	-2,401	3,888	6,289	686	11,285	10,303	-250	-46
2月中	-1,237	-1,702	3,536	5,238	465	11,791	11,137	-158	-31
3月中	4,511	-1,730	3,697	5,427	6,241	36,601	29,830	-495	-35
4月中	6,807	-1,098	3,379	4,477	7,905	28,034	20,521	314	78
5月中	1,925	-1,005	3,933	4,938	2,930	14,587	11,982	214	111
6月中	1,451	-582	3,763	4,345	2,033	13,098	11,149	6	78
7月中	856	-692	3,751	4,443	1,548	14,187	12,382	-90	-167
8月中	19	-546	4,057	4,603	565	13,380	12,891	118	-42
9月中	785	-470	3,849	4,319	1,255	13,430	11,883	-243	-49
10月中	2,219	-960	4,035	4,995	3,179	14,698	11,502	5	-22
11月中	594	-1,378	3,740	5,118	1,972	12,073	10,214	31	82
12月中	-803	-1,405	3,615	5,020	602	11,836	11,037	37	-234
計	15,412	-13,969	45,243	59,212	29,381	195,000	164,831	-511	-277

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

**18市町で人口増加
最高増減率は流山市 2.68%**

平成29年中の人口増減を市町村別にみると、18市町で人口が増加し、36市町村で減少した。増加数では、流山市が4,823人で最も多く、以下、船橋市4,580人、市川市3,861人、柏市3,743人、千葉市2,226人と続いている。逆に、減少数では市原市が1,386人で最も多く、以下、銚子市1,297人、香取市1,144人、君津市948人、旭市826人の順となっている。

また、増加率では流山市が2.68%で最も大きく、以下、印西市2.13%、袖ヶ浦市0.97%、四街道市0.96%、八千代市0.90%と続いている。逆に、減少率では長南町が2.76%で最も大きく、以下、勝浦市2.73%、九十九里町2.50%、銚子市2.06%、鋸南町1.94%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村 (平成25年～平成29年)

順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		
	市	町	村	増加数	市	町	村	増加数	市	町	村
1	船橋市	3,567	市川市	3,609	市川市	9,299	流山市	4,389	流山市	4,823	
2	流山市	1,860	船橋市	3,437	千葉市	5,487	市川市	4,184	船橋市	4,580	
3	柏市	1,848	流山市	2,873	柏市	5,275	船橋市	4,128	市川市	3,861	
4	習志野市	1,512	千葉市	2,325	船橋市	3,872	柏市	3,689	柏市	3,743	
5	木更津市	759	柏市	2,207	流山市	3,525	習志野市	3,023	千葉市	2,226	

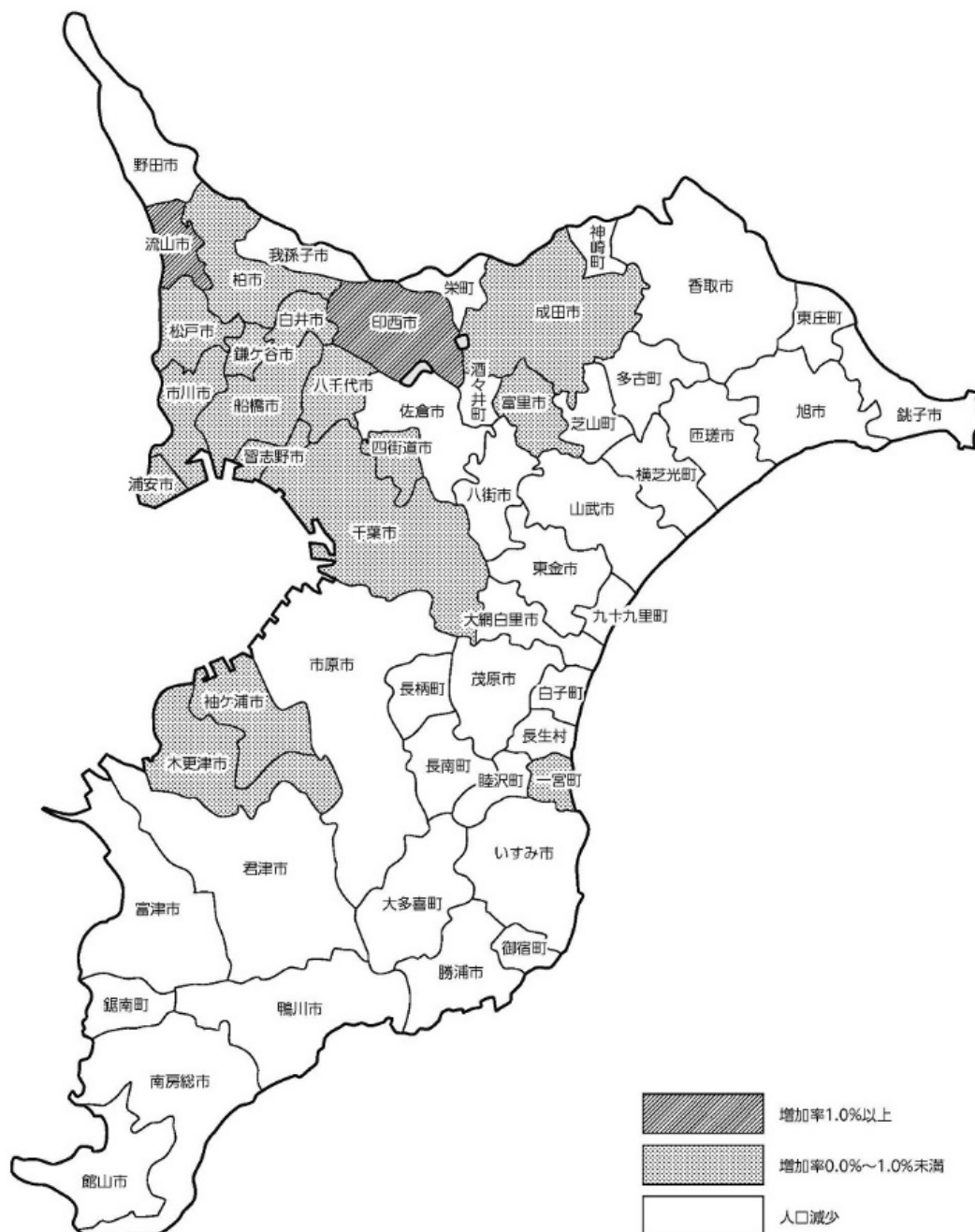
順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		
	市	町	村	減少数	市	町	村	減少数	市	町	村
1	市原市	1,357	銚子市	1,226	市原市	2,002	銚子市	1,191	市原市	1,386	
2	銚子市	1,254	香取市	1,060	香取市	1,053	香取市	1,033	銚子市	1,297	
3	香取市	1,164	山武市	879	銚子市	960	君津市	895	香取市	1,144	
4	山武市	862	八街市	843	君津市	952	八街市	707	君津市	948	
5	野田市	698	市原市	703	匝瑳市	887	山武市	704	旭市	826	

表3 人口増減率上位5市町村（平成25年～平成29年）

順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%	市町村	増加率%
1	流山市	1.11	流山市	1.70	流山市	2.05	流山市	2.50	流山市	2.68
2	習志野市	0.91	習志野市	0.80	市川市	1.97	印西市	2.39	印西市	2.13
3	印西市	0.61	市川市	0.77	木更津市	1.59	習志野市	1.79	袖ヶ浦市	0.97
4	四街道市	0.61	船橋市	0.56	八千代市	1.32	浦安市	1.53	四街道市	0.96
5	船橋市	0.58	木更津市	0.55	睦沢町	1.31	柏市	0.89	八千代市	0.90

順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%	市町村	減少率%
1	長柄町	2.27	長南町	2.19	白子町	2.74	勝浦市	2.72	長南町	2.76
2	九十九里町	2.26	芝山町	2.18	鋸南町	2.72	九十九里町	2.10	勝浦市	2.73
3	長南町	2.26	鋸南町	2.15	御宿町	2.62	大多喜町	1.86	九十九里町	2.50
4	大多喜町	2.21	大多喜町	2.12	匠瑳市	2.33	銚子市	1.86	銚子市	2.06
5	鋸南町	2.13	勝浦市	1.89	長柄町	2.09	鋸南町	1.71	鋸南町	1.94

図4 市町村別人口増減率（平成29年1月～12月）



3. 人口密度

県人口密度 1,213.3 人/k㎡
市町村別人口密度は浦安市が
9,720.8 人/k㎡で最高

本県の人口密度は、平成30年1月1日現在1,213.3人/k㎡で、前年の人口密度(1,210.3人/k㎡)に比べ3.0人/k㎡高くなった。市郡別にみると、市部1,374.0人/k㎡、郡部271.9人/k㎡で、市部は郡部の約5.1倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,720.8人/k㎡で最も高く、以下、市川市8,530.1人/k㎡、習志野市8,227.8人/k㎡、松戸市7,962.0人/k㎡、船橋市7,384.3人/k㎡と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町72.6人/k㎡、長南町119.2人/k㎡、長柄町150.5人/k㎡、南房総市163.3人/k㎡、芝山町168.9人/k㎡の順となっている。

4. 世帯数

県世帯数 269 万世帯
1 世帯当たり人員は 2.32 人

平成30年1月1日現在の本県の世帯数は2,692,483世帯で、前年の世帯

数2,652,678世帯に比べて39,805世帯増加し、増減率では1.50%となり、人口増減率0.25%よりも高い率となっている。

1世帯当たり人員は2.32人で、前年の2.35人に比べ0.03人減少した。

また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の2.97人が最も多く、以下、芝山町2.91人、睦沢町2.84人、匝瑳市2.83人、長南町2.81人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.07人で、以下、勝浦市2.13人、浦安市2.17人、松戸市2.19人、船橋市2.24人の順となっている。

県の1世帯当たり人員より少ないのは12市町で、多いのは42市町村となっている。

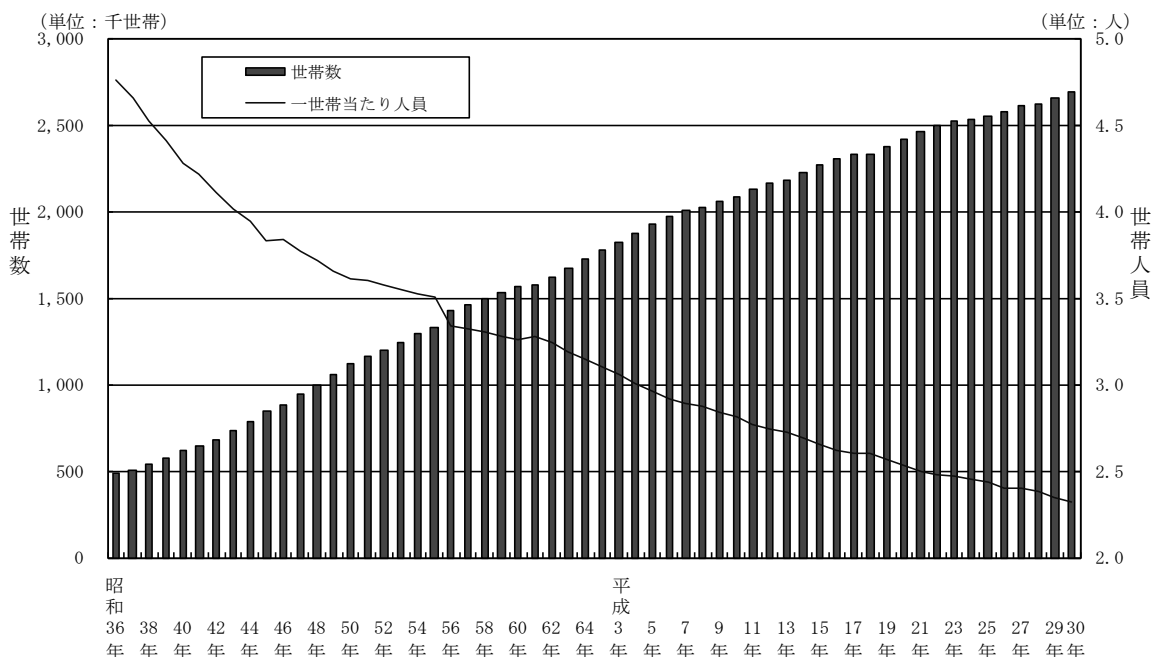
表4 月別世帯増減数（平成29年中）

(単位：世帯)

	増減数	転入	転出	その他
1月中	356	7,272	5,893	-1,023
2月中	606	7,565	6,451	-508
3月中	12,310	24,373	13,702	1,639
4月中	10,361	18,967	10,112	1,506
5月中	3,388	9,856	6,589	121
6月中	2,401	8,555	6,416	262
7月中	1,931	9,273	7,152	-190
8月中	1,164	8,328	7,239	75
9月中	2,124	9,351	7,052	-175
10月中	3,098	10,041	6,675	-268
11月中	1,703	8,187	6,044	-440
12月中	363	7,623	6,569	-691
計	39,805	129,391	89,894	308

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図5 世帯数及び世帯人員数の推移（昭和36年～平成30年、各年1月1日現在）



5. 県外との人口移動

人口移動総数 35万9千人
移動率 5.75%

平成 29 年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、359,831 人で前年の 347,940 人に比べ 11,891 人増加し、移動率（各年 7 月 1 日現在人口に対する移動者総数の割合）は 5.75% と、前年の 5.58% に比べて 0.17 ポイント上昇した。

3万人の転入超過
転入超過率 0.48%

平成 29 年中の県外からの転入者数は 195,000 人（前年 188,452 人）、転出者数は 164,831 人（同 159,488 人）で、転入超過数は 30,169 人（同 28,964 人）となった。

また、平成 29 年の転入超過率（各年 7 月 1 日現在人口に対する転入超過数の割合）は 0.48% となり、前年の 0.46% に比べて 0.02 ポイント上昇した。

なお、県外（46 都道府県）との関係は、42 道府県から転入超過となり、4 都県へ転出超過となっている。

表 5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成 10 年～平成 29 年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成10年	409,201人	6.96%	12,443人	0.21%	210,822人	198,379人	5,880,299人
11年	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216

表 6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成 25 年～平成 29 年）

順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,317人	茨城県	1,270人	茨城県	1,363人	茨城県	1,657人	茨城県	1,292人
2	北海道	981	大阪府	1,159	福岡県	1,220	大阪府	1,200	福岡県	1,200
3	大阪府	721	兵庫県	981	北海道	1,142	福岡県	1,127	大阪府	886
4	福島県	621	北海道	979	大阪府	886	兵庫県	911	宮城県	805
5	新潟県	510	新潟県	698	兵庫県	882	北海道	816	青森県	709
順位	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	8,192人	東京都	5,484人	東京都	5,760人	東京都	1,953人	東京都	1,165人
2	神奈川県	1,036	神奈川県	519	神奈川県	542	埼玉県	887	埼玉県	646
3	埼玉県	710	埼玉県	151	埼玉県	516	神奈川県	65	神奈川県	559
4							群馬県	13	群馬県	86
5							三重県	12		